

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月1日

上場取引所 東

上場会社名 ブロードメディア株式会社
 コード番号 4347 URL <http://www.broadmedia.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 植村 保彦

TEL 03-6439-3725

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	6,323	0.0	△305	—	△570	—	△695	—
25年3月期第2四半期	6,321	11.1	50	△81.0	△79	—	△99	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △661百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△10.67	—
25年3月期第2四半期	△1.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	11,652	6,171	47.8	85.34
25年3月期	12,529	6,930	50.6	97.30

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 5,565百万円 25年3月期 6,345百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1.50	—	1.50	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	13,000	0.2	△350	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	66,723,516 株	25年3月期	66,723,516 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,507,332 株	25年3月期	1,507,332 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	65,216,184 株	25年3月期2Q	65,216,184 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ1,675千円(0.0%)増加し、6,323,097千円(前年同期は6,321,422千円)となりました。「スタジオ」「ネットワーク営業」は減収となりましたが、「コンテンツ」「放送」「技術」が増収となったことにより、売上高は前年同期と同水準で推移いたしました。

営業利益は、305,565千円の営業損失(前年同期は50,742千円の営業利益)となりました。前年同期に営業損失であった「放送」が営業利益を計上し、「技術」が増益となったものの、他の3つのセグメントが営業損失を計上したことが要因です。

経常利益は、570,112千円の経常損失(前年同期は79,235千円の経常損失)となりました。営業損失に加え、持分法による投資損失が増加したこと等が主な要因です。

四半期純利益は、695,977千円の四半期純損失(前年同期は99,642千円の四半期純損失)となりました。持分法適用関連会社であるGクラスタ・グローバル株式会社が行った増資に伴い持分変動利益133,637千円が発生いたしました。ソフトウェアの減損損失を計上したことや、子会社において税金費用が増加したこと、繰延税金資産の取り崩しを行ったことにより、四半期純損失を計上いたしました。

[セグメント別事業内容(平成25年9月30日)]

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
コンテンツ	ホームエンタテインメント	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドゲーム事業 ・クラウドゲーム機「G-cluster」の販売及びクラウドゲームサービスの提供 ・通信事業者へのクラウドゲームプラットフォーム提供及びゲーム事業者へのクラウドゲーム機能提供 ・クラウドビデオ「T's TVレンタルビデオ」の提供 ・インタラクティブシステム「T's TVクラウド」の提供 	—
	映像サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・PC・スマートフォン・タブレット向け、ドラマ専門映像配信サービス「ドラMAXアリーナ」の提供 	ハリウッドチャンネル(株)
	CS放送会員サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・CS放送視聴に関する独自の会員制サービス「Club iT」の運営 	—
	モバイルサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイルサイト「ハリウッドチャンネル」等、複数サイトの企画・運営 ・スマートフォンサイト「クランクイン！」等の企画・運営 	ハリウッドチャンネル(株)
	教育サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・イーラーニングシステムを利用した単位制・通信制高校「ルネサンス高等学校」「ルネサンス豊田高等学校」の運営 ・科学検定委員会の運営 	ルネサンス・アカデミー(株)
	その他サービス	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナショナル ジオグラフィック」日本語版公式サイト等の運営等 	ルネサンス・アカデミー(株)
放送	釣り専門チャンネル	<ul style="list-style-type: none"> ・衛星一般放送事業「釣りビジョン」及び衛星基幹放送事業「BS釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給 	(株)釣りビジョン
スタジオ	制作事業	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作 	ブロードメディア・スタジオ(株)
	番組販売事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ハリウッド映画等のテレビ局への供給 	
	映画配給事業	<ul style="list-style-type: none"> ・劇場映画の配給、DVD/Blu-rayの発売、テレビ放映権の販売 	
技術	CDNサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツを最適な形で配信するCDNサービスの提供 	CDNソリューションズ(株)
	デジタルシネマサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロードメディア®CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売及びレンタル ・映画館へデジタル機材の導入を推進する配給・興行向けVFPサービスの提供 	— デジタルシネマ倶楽部(株)

ネットワーク 営業	ISPサービス販売	・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売	—
	携帯電話サービスの取扱い	・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯電話端末の取り扱い	—
	ブロードバンド回線販売	・ブロードバンド回線「Yahoo! BB」の販売	—
	その他	・その他商材の販売	—

当第2四半期連結累計期間における各セグメントごとの売上高及び営業利益の概況は、以下のとおりです。

①コンテンツ

「コンテンツ」セグメントは、ホームエンタテインメント、映像サービス、CS放送会員サービス、モバイルサービス、教育サービス及びその他サービスで構成されており、テレビ・PC向けの動画配信、モバイル向けのコンテンツ配信、CS放送視聴に関する独自の会員制サービス及び広域通信制高校に至るまでの広範な事業を行っております。また、第1四半期連結累計期間よりホームエンタテインメントにおいて、クラウドゲーム事業を開始いたしました。

売上高は、前年同期と比べ30,924千円(2.3%)増加し、1,361,216千円(前年同期は1,330,292千円)となりました。教育サービスにおいて生徒数が堅調に推移していることや、今期から開始したクラウドゲーム事業の売上が寄与したことが、増収の主な要因です。

営業利益は、243,939千円の営業損失(前年同期は88,817千円の営業利益)となりました。既存事業であるCS放送会員サービスは縮小傾向にあります。また、科学検定の立ち上げ費用に加えて、クラウドゲーム事業におけるテレビCMの出稿や、東京ゲームショウの出展ブース拡大等の先行費用を、上記増収で補えなかったことが主な要因となり、営業損失を計上いたしました。

②放送

「放送」セグメントは、釣り専門番組「釣りビジョン」の制作、並びにBS・CS放送及びケーブルテレビ局等あての番組供給事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ394,702千円(23.2%)増加し、2,095,178千円(前年同期は1,700,476千円)、営業利益は70,322千円(前年同期は67,307千円の営業損失)となりました。

「BS釣りビジョン」の視聴料収入が順調に伸びていることや、制作売上が好調に推移したことが主な要因となり、売上が増加し、営業利益を計上いたしました。

③スタジオ

「スタジオ」セグメントは、映画やドラマ等の映像作品の調達、日本語字幕・吹替制作から、その作品の配給、販売を行っております。

制作事業は、受注が増加したことにより増収増益となりましたが、番組販売事業は、テレビ局への販売が減少したことにより減収減益となりました。また、映画配給事業は、配給作品の興業成績が不調であったことに加えて、DVD販売方法の変更により、従来よりも売上の計上時期が後ろ倒しとなっていることが影響し、損失を計上いたしました。これらの結果、売上高は、前年同期と比べ264,782千円(17.4%)減少し、1,253,725千円(前年同期は1,518,507千円)、営業利益は、66,053千円の営業損失(前年同期は106,714千円の営業利益)となりました。

④技術

「技術」セグメントは、「ブロードメディア®CDN」等のCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービス及びデジタルシネマサービスを行っております。

売上高は、前年同期と比べ151,207千円(21.5%)増加し、853,660千円(前年同期は702,453千円)、営業利益は、前年同期と比べ9,309千円(54.0%)増加し、26,534千円(前年同期は17,225千円)となりました。デジタルシネマサービスにおいて、前年同期よりも機材販売が増加したことや、サービスを提供する映画館や配給会社の数が順調に伸びていること等が増収増益の主な要因です。

⑤ネットワーク営業

「ネットワーク営業」セグメントは、ISPサービスや携帯電話サービス、ブロードバンド回線等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、前年同期と比べ310,375千円(29.0%)減少し、759,316千円(前年同期は1,069,692千円)となりました。ISPサービスの販売が減少したことに加え、解約引当率が上昇したことにより、売上は減少いたしました。

営業利益は、92,429千円の営業損失(前年同期は94,706千円の営業損失)となりました。上記減収となったものの、原価率が低下したことに加えて、販売費及び一般管理費を抑制したことにより、営業損失は縮小いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ838,574千円減少し、6,555,979千円となりました。クラウドゲーム機「G-cluster」の仕入等により商品及び製品が増加した一方で、現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したこと等により、流動資産は減少いたしました。固定資産は、前連結会計年度末に比べ39,292千円減少し、5,096,035千円となりました。持分法による投資損失の計上により投資有価証券が減少したことが主な要因です。これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ877,866千円減少し、11,652,014千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ65,199千円減少し、3,778,788千円となりました。クラウドゲーム機「G-cluster」の仕入等により買掛金が増加した一方で、前受金が減少したこと等により、流動負債は減少いたしました。固定負債は、長期リース債務が減少したことが主な要因となり、前連結会計年度末に比べ53,546千円減少し、1,701,756千円となりました。これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ118,745千円減少し、5,480,544千円となりました。

(ハ) 純資産

当第2四半期連結累計期間において、四半期純損失695,977千円を計上いたしました。また、97,824千円の剰余金の配当を実施しております。これらの結果、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ759,120千円減少し、6,171,470千円となりました。これにより、自己資本比率は47.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ737,492千円減少し、2,223,456千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、マイナス485,769千円（前年同期はプラス63,680千円）となりました。当第2四半期連結累計期間に税金等調整前四半期純損失482,523千円を計上いたしました。また、売上債権が減少した一方で、クラウドゲーム機「G-cluster」の仕入によりたな卸資産が増加いたしました。これらの結果、営業活動によるキャッシュ・フローはマイナスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、マイナス267,459千円（前年同期はマイナス970,077千円）となりました。これは、リース資産を主とした固定資産の取得による支出295,951千円があったこと等によるものです。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、マイナス12,666千円（前年同期はプラス186,141千円）となりました。これは、セール・アンド・リースバックによる収入164,529千円があった一方で、リース債務の返済153,305千円や配当金の支払97,890千円を実施したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、平成25年4月25日の決算発表時に公表した通期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

1. 平成26年3月期通期 連結業績予想数値の修正（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	17,000	400	—	—	—
今回修正予想 (B)	13,000	△350	—	—	—
増減額 (B) - (A)	△4,000	△750	—	—	—
増減率 (%)	△23.5	—	—	—	—
(参考) 前期実績 (平成25年3月期)	12,968	166	△215	△424	△6.51

2. 修正の理由

<売上高>及び<営業利益>

「コンテンツ」セグメントにおいては、クラウドゲーム事業の立ち上げが遅れており、第3四半期以降も期初の想定より緩やかな伸びとなることを見込んでおります。また、「スタジオ」セグメントでは、映画興行成績の不調に加え、DVD販売方法の変更に伴う売上計上時期の後ろ倒しが通期で影響する見込みです。更に「ネットワーク営業」セグメントでは、ISPサービス販売の不調が続いております。これらの理由により、売上高は前回発表を下回り、営業損失を計上する見通しとなりましたので、業績予想を下方修正いたします。

<経常利益>及び<当期純利益>

前回発表時と同様に、Gクラスタ・グローバル株式会社及び湖南快樂垂釣發展有限公司における業績見込みの不確実性が高く、その業績が反映される経常利益及び当期純利益は予想が困難なため、引き続き開示を控えさせていただきます。

【参考】

通期連結業績予想のセグメント別内訳は以下の通りです。

(単位：百万円)

	売上高			営業利益		
	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)
合計	17,000	13,000	△4,000	400	△350	△750
コンテンツ	5,500	3,400	△2,100	200	△310	△510
放送	4,000	4,200	200	10	100	90
スタジオ	3,200	2,700	△500	120	△20	△140
技術	1,600	1,600	0	130	90	△40
ネットワーク営業	2,700	1,100	△1,600	△60	△210	△150

※ 上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。

特に下記要因により業績が異なる可能性があります。

- ・ クラウドゲーム事業の進捗が見通しと異なる場合
- ・ 映画配給事業の売上が予想と異なる場合
- ・ 「ネットワーク営業」の業績が見通しと異なる場合

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,960,949	2,223,456
受取手形及び売掛金	1,998,166	1,517,046
商品及び製品	10,675	484,514
仕掛品	134,109	105,850
原材料及び貯蔵品	104,689	151,742
番組勘定	996,938	1,195,992
その他	1,191,992	879,938
貸倒引当金	△2,967	△2,562
流動資産合計	7,394,553	6,555,979
固定資産		
有形固定資産		
リース資産(純額)	1,562,357	1,540,420
その他(純額)	220,334	214,884
有形固定資産合計	1,782,691	1,755,304
無形固定資産		
のれん	88,506	62,759
その他	425,758	370,881
無形固定資産合計	514,264	433,640
投資その他の資産		
投資有価証券	2,379,160	2,291,841
その他	462,784	623,470
貸倒引当金	△3,572	△8,222
投資その他の資産合計	2,838,371	2,907,089
固定資産合計	5,135,328	5,096,035
資産合計	12,529,881	11,652,014

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	710,322	838,867
短期借入金	456,000	530,000
未払法人税等	146,480	95,365
賞与引当金	122,973	133,756
その他	2,408,211	2,180,798
流動負債合計	3,843,987	3,778,788
固定負債		
退職給付引当金	79,720	89,089
役員退職慰労引当金	74,249	79,749
リース債務	1,479,494	1,461,534
その他	121,838	71,381
固定負債合計	1,755,302	1,701,756
負債合計	5,599,290	5,480,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,633	2,666,633
資本剰余金	2,270,490	2,270,490
利益剰余金	1,569,355	775,553
自己株式	△228,445	△228,445
株主資本合計	6,278,034	5,484,232
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,523	40,857
繰延ヘッジ損益	10,763	—
為替換算調整勘定	32,426	40,177
その他の包括利益累計額合計	67,712	81,034
少数株主持分	584,843	606,202
純資産合計	6,930,591	6,171,470
負債純資産合計	12,529,881	11,652,014

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,321,422	6,323,097
売上原価	4,352,324	4,309,487
売上総利益	1,969,098	2,013,610
販売費及び一般管理費	1,918,355	2,319,175
営業利益又は営業損失(△)	50,742	△305,565
営業外収益		
受取利息	652	7,427
受取配当金	1,426	1,100
為替差益	3,386	29,787
その他	8,053	11,866
営業外収益合計	13,519	50,181
営業外費用		
支払利息	57,581	68,695
持分法による投資損失	76,525	242,709
その他	9,390	3,323
営業外費用合計	143,497	314,728
経常損失(△)	△79,235	△570,112
特別利益		
固定資産売却益	—	10
投資有価証券売却益	327	—
段階取得に係る差益	53,118	—
持分変動利益	—	133,637
特別利益合計	53,446	133,647
特別損失		
減損損失	—	46,059
投資有価証券評価損	1,593	—
特別損失合計	1,593	46,059
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,382	△482,523
法人税、住民税及び事業税	50,100	77,182
法人税等調整額	21,382	114,912
法人税等合計	71,483	192,094
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△98,865	△674,618
少数株主利益	776	21,359
四半期純損失(△)	△99,642	△695,977

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△98,865	△674,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,845	16,334
繰延ヘッジ損益	—	△10,763
為替換算調整勘定	2,757	7,750
その他の包括利益合計	△2,087	13,322
四半期包括利益	△100,952	△661,296
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△101,729	△682,655
少数株主に係る四半期包括利益	776	21,359

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△27,382	△482,523
減価償却費	206,774	247,674
減損損失	—	46,059
のれん償却額	33,680	25,746
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,877	4,243
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,278	10,782
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5,500	5,500
受取利息及び受取配当金	△2,079	△8,527
支払利息	57,581	68,695
持分法による投資損益(△は益)	76,525	242,709
投資有価証券売却損益(△は益)	△327	—
投資有価証券評価損益(△は益)	1,593	—
段階取得に係る差益	△53,118	—
持分変動損益(△は益)	—	△133,637
売上債権の増減額(△は増加)	259,486	481,119
たな卸資産の増減額(△は増加)	198,016	△691,687
仕入債務の増減額(△は減少)	△386,594	128,545
未払又は未収消費税等の増減額	24,357	△73,180
その他の資産・負債の増減額	△332,892	△161,536
その他	10,371	△32,029
小計	86,646	△322,044
利息及び配当金の受取額	26,832	33,517
利息の支払額	△57,972	△69,789
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	8,175	△127,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	63,680	△485,769
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△598,130	△295,951
投資有価証券の取得による支出	△79,500	△10,000
投資有価証券の売却による収入	588	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△889	—
定期預金の純増減額(△は増加)	△149,485	—
貸付けによる支出	△140,000	△280,000
貸付金の回収による収入	646	300,000
差入保証金の差入による支出	△11,408	△6,301
差入保証金の回収による収入	8,098	4,780
その他	3	20,013
投資活動によるキャッシュ・フロー	△970,077	△267,459
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△143,000	74,000
配当金の支払額	△96,882	△97,890
セール・アンド・リースバックによる収入	522,099	164,529
リース債務の返済による支出	△96,076	△153,305
財務活動によるキャッシュ・フロー	186,141	△12,666
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,467	28,402
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△721,723	△737,492
現金及び現金同等物の期首残高	3,480,249	2,960,949
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,758,526	2,223,456

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高	1,330,292	1,700,476	1,518,507	702,453	1,069,692	6,321,422
セグメント利益又は損失(△)	88,817	△67,307	106,714	17,225	△94,706	50,742

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「技術」セグメントにおいて、持分法適用の関連会社であったデジタルシネマ倶楽部(株)の株式を追加取得したことにより、同社を連結子会社としました。なお、当該事象によるのれんの発生額は、当第2四半期連結累計期間においては79,331千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高	1,361,216	2,095,178	1,253,725	853,660	759,316	6,323,097
セグメント利益又は損失(△)	△243,939	70,322	△66,053	26,534	△92,429	△305,565

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業損失に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「コンテンツ」セグメントにおける事業用資産について、減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、第2四半期連結累計期間において46,059千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。